

小中連携だより はじめの一步

平成29年 7月20日(木)
名護中学校校区 小中連携係



3グループ ICTの活用



4グループ

☆ 互見授業

7月11日(火)、2年3組の生活科の授業を参観しました。「見つけた町のすてきを伝え合おう」という単元でした。「みんなにわかりやすく、大きな声で話す」「聞く人は、よく目、耳、心をむけてしずかに聞く」というめあてのもと、町探検で気づいたことや感じたこと、わかったことをグループで発表していました。



グループによって伝えたい内容は異なっており、1グループは、大中コースを探検し、みつけた花を紹介していました。電信柱の掲示物「お花は見るものとするものではありません」も紹介していて、授業の振り返りの中で他のグループの児童から「(この掲示物に)ぼくは、気づかなかったけど、気づいたのすごいです」という感想がありました。

と思った！」という感想がありました。

参観して「すごいな」と思ったのが、5グループ全部違う方法で発表していたことです。1グループは右の写真のようにお花の紹介をしていました。3グループは、ICT(テレビ)を使って紹介していました。2グループと4グループは、ペーパーサートを用いて紹介、5グループは紙芝居を使って紹介していました。



5グループ



2グループ→



授業の振り返りとして、他のグループの発表を聞いて、感想を伝える場面で、発表者に目、耳、心をむけてしずかに聞く姿が見られました。担任の洋子先生も「すてきだね」と褒めていました。

1学期、互見授業を通して子どもたちが学びに向かうステキな姿をたくさん見ることができました。

公開授業者の先生方、ありがとうございました。



7月28日(金)午後2時～ 名護小学校多目的教室で「第2回小中合同研修会」が行われます。ご参加よろしくお願いします。